

## JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2023 兵庫の受賞者へ賞状を授与

JICA は毎年、JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテストを実施しており、2023 年度は「地球に生きる私たち –未来へつなげるために–」をテーマに作品を募集しました。この度、全国からの応募総数 37,592 作品(中学生の部:17,439 作品、高校生の部:20,153 作品)の中から「国内機関長賞(JICA 関西所長賞)」に選ばれた生徒の学校を JICA 関西が訪問し、賞状を授与します。訪問時には、世界に関心を寄せる受賞生徒と国際協力経験豊かな JICA 関西職員が、国際協力や SDGs 等について懇談予定です。

世界とのつながりが益々深まる現在、生徒たちが何を学び、未来に向けてどのような行動をしようとしているのか、ぜひ取材ください！

### 【日程】 2月21日(水)15:00～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
兵庫県立小野高等学校	国内機関長賞	1	田舎から世界へ広がる減災の方法	小野市西本町 518

### 【日程】 3月7日(木)13:00～ (30分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
松蔭中学校	国内機関長賞	2	平和について考えるべきこと	神戸市灘区青谷 町 3-4-47

取材希望の場合は下記連絡先まで事前にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 市民参加協力課 後藤田 路子 TEL:078-261-0384 E-mail: Gotouda.Fukiko.2@jica.go.jp

## <参考>

### 【受賞作品概要】

#### ●国内機関長賞 兵庫県立小野高等学校 1年

##### タイトル:田舎から世界へ広がる減災の方法

自然災害が多発する中、田舎に住む私が考える減災の方法は「田んぼダム」。これは手軽で途上国でも取組やすいだろう。私達ができる事は少ないが、皆が住む環境を守ろうとすることで、その小さな取組が重なれば世界に波及し、地球を守る事になると思う。

#### ●国内機関長賞 松蔭中学校 2年

##### タイトル:平和について考えるべきこと

広島での平和礼拝に参加し被爆者の証言を聞いて戦争や原子爆弾に対する考え方が変わった。こんなに残酷な事が日本で起こっていた事が信じられなかった。唯一の被爆国として10年、20年後の人々にも「戦争」について考える時間があって欲しい。

### 【関西の応募(審査作品)総数】

都道府県	中学	高校	全体
滋賀県	801	346	1,251
京都府	836	909	1,692
大阪府	1,334	1,052	3,144
兵庫県	485	473	1,173
奈良県	489	6	819
和歌山県	343	35	35
計	4,288	2,821	8,114

### 賞の種類(中学生・高校生共通):

個人賞 最優秀賞 3名  
(JICA理事長賞、外務大臣賞、文部科学大臣賞)  
優秀賞 3名  
審査員特別賞 4名  
国際協力特別賞 10名  
国内機関長賞 各都道府県1名以下  
佳作 70名程度  
【副賞】最優秀賞・優秀賞:海外研修  
その他個人賞:フェアトレード商品  
【参加賞】応募者全員(エコファイル等)  
学校賞 60作品以上または全校生徒の3割以上応募(副賞:表彰メダル)  
特別学校賞 5年以上連続学校賞受賞(副賞:表彰楯)

### 【エッセイコンテストの概要】

次世代を担う中学生・高校生に対して、エッセイを書くという行為を通じて、国際協力について考えてもらうきっかけを提供し、開発課題や国際協力への興味・関心を高めてもらうことを目的に実施。1962年度に「海外移住懸賞作文」として開始され、2023年度は高校生の部が62回目、中学生の部は28回目を数える事業。

最終審査員長は中学生の部に尾木直樹氏(教育評論家・法政大学名誉教授)、高校生の部に星野知子氏(女優・エッセイスト)を迎える。

[国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト HP](#) (右 QRコード参照)

